

講演会と工場見学に参加した生徒の感想

2018年10月11日

○講演会で小平社長のお話をお聞きしたり、実際に工場を見学させていただいたりして、諏訪市のものづくりは世界に誇れるものだ改めて感じました。プレス機の機械も何種類もあってとても驚きました。普段何気なく使っている物に、諏訪で造られている部品が沢山使われていることが何だかすごく誇らしく感じられました。工場は独特なおいがしました。作業場にはちり一つなく、そこから信頼などが生まれるのかなと思いました。私のなりたい職業とはジャンルが全然違うけれど、共通していることは、「安全第一」だということ、「信頼をもってもらうために工夫し続けること」だと感じました。社員数は工場の広さにしては多くないと思いましたが、一人一人の責任が大きいし、仕事の達成感もその分あると思ひ、そこが仕事の面白さだと思いました。(T.A)



○私達が住んでいる諏訪は、ものづくりや工業が盛んだということはなんとなく知っていたけれど、具体的なことは何も知らなくて、今日、太陽工業さんを見学させていただいて、沢山のことを学びました。まず太陽工業さんでは、自動車や、カメラ、ゲームの部品などを主に造っているということを教えていただき、私の祖父母の家では「プリウス」に乗っているの、今度会った時には「太陽工業さんの部品が使われているんだ」と教えてあげたいと思ひまし

た。案内して下さった担当の方の説明で、「縁の下の力持ち」のような仕事は、人がよく見る部分ではないけれど、社会、世の中の役に立っていると言うことが仕事のやりがいであるとお聞きして、私も普段わからないようなことにも全力で取り組みたいと思ひました。(M.K)

○太陽工業には多くの社員が働いていて、その人数をまとめている小平社長はすごいなと思ひました。プレス加工では、金型をつくることができれば早く、安く、大量生産ができるというところはすごいと思ひました。また、お客様の信頼を得るために、100分の1、1000分の1の単位での調節をしていると聞いて、商売は大変だなと思ひました。さらに「3年間でこういう会社にしていく」という計画を立て、会社全体で実行していくという「認知・決断・実行」を実践していてすごいと思ひました。また、工場の温度管理を簡単にするために地下に工場を造るという設計力も、とても勉強になりました。外から見ると見えない所の部品でも1つ欠けたらその製品が「不良品」となってしまうと聞いて、自分もこういう細かい部品を大切にしていきたいと感じました。(K.I)

